

〈報 告〉

水溶性高分子を含む試作育毛製剤 2 品の臨床的使用試験

三浦 広光^{*1}, 千葉 忠彦^{*2}, 西木 満彦^{*3}, 木村 文彦^{*2}
福岡 正和^{*3}, 渡辺 武雄^{*1}, 渡辺 靖^{*4}

要 旨

男性型脱毛症を対象に試作育毛製剤 2 品 (W-140 および T-027) の臨床的使用試験を実施した。W-140 は、ポリビニルアルコール、カルボキシメチルセルロースナトリウム、トレハロースにニンジン抽出液などを配合した水性製剤である。また T-027 は、ヒドロキシプロピルセルロース、トレハロースにセンブリエキスなどを配合したアルコール性製剤である。C3H マウスによる試験で、W-140 は発毛促進効果を示し、また T-027 との交互塗布により、さらに高い効果を示した。そこで、男性型脱毛症 81 名を対象に、W-140 単独使用 (以下単独群) と W-140/T-027 交互使用 (以下交互群) のオープン法 2 群間比較による 6 カ月間の臨床的使用試験を実施した。その結果、両群に、①毛髪所見および頭皮所見の有意な改善が認められた。②抜け毛の総本数は変わらなかったが、硬毛本数は有意に減少した。③成長期毛測定では、総本数および硬毛本数が有意に増加した。④脱毛症の悪化、副作用など、有害事象は認められなかった。有用性判定の結果、単独群 69.4%、交互群 62.2% が「やや有用」以上と判定された。交互群で効果発現が若干早まる傾向にあったが、両群間に有意な差はなかった。以上の結果より、W-140 は単独または T-027 と交互に使用することにより、男性型脱毛症に対し、安全かつ有用な製剤であると判断された。

Key words: 男性型脱毛症, 水溶性高分子, トレハロース